

	<p>第 29 号 2016年 1月 28日 発行 名古屋高校2年学年会 http://www.meigaku.ac.jp 052-721-5275</p>
---	---

○ 勉強嫌いは当たり前！？

新しい年になり、気付けば1月も終わろうとしています。
お正月に「今年はやるぞ！」と意気込んでからそれまでの自分と明らかな変化がでているでしょうか。
生徒のみなさんを見ていると継続的に努力している人がいる一方で、言うことはできてもなかなか行動に移せない人がいます。
今回は、そんな勉強嫌いなキミに向けて書きたいと思います。
勉強しようと机に向かうとやる気が出なくて、ついついスマホを見たりしていませんか。
実はこの行動は脳の性質を考えると当たり前のことなのです。
脳には以下のような性質があります。

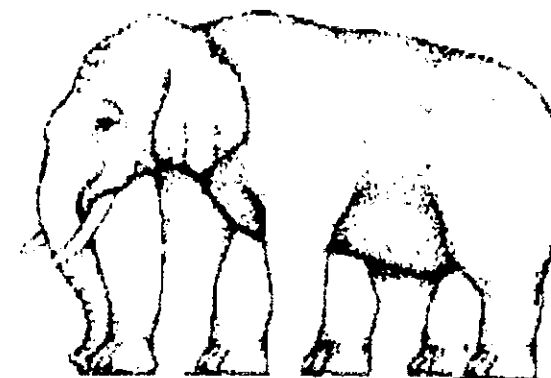
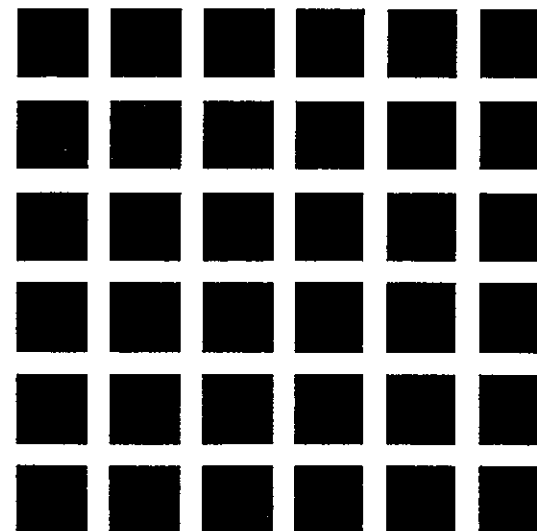
- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 辛いことをじっと我慢することが大嫌い ② 生命維持に直接かかわらないことには基本的に無関心 ③ 過去に良い思いをしたことは前向きになる |
|---|

- ①について。普段、机に向かってじっと我慢しているような学習法の人には場所を変えたり、やり方を変えたりするといいいのではないのでしょうか。
- ②について。勉強しないと生命が脅かされる訳ではありません。勉強は気持ちを高めて取り組まないといけないことを自覚する必要があります。勉強が辛いのは当たり前。
- ③について。過去に勉強で達成感を味わったことはありますか。無意識に自分自身で勉強が嫌いになっている可能性があります。小さな目標をいくつか設定して、常に達成感を味わう学習法にしてみましょう。

どうでしたか。脳の性質を理解して、学習環境を整えると良いかもしれませんね。
2016年はみなさんにとって試練の年。自分の目標を実現できるように取り組もう！

○ あなたには、どう見える？

脳の性質について触れたので、ここでは「錯視」について書きたいと思います。「錯視」とは視覚における錯覚のことです。基本的なメカニズムは、脳の勘違いに由来するらしいのですが、未だ詳しくわかっていないものもあるようです。
下の2つの錯視絵を見て、脳のエクササイズを行いましょう。



↑ 交差部分が暗く見える？

↑ ゾウの足はいくつある？

<今後の予定>

1月 29日(金)	40分×7限授業(中学入試)
30日(土)	中学入試・自宅学習日
31日(日)	駿台・東大レベル模試(校外)
2月 1日(月)	A日程・高校一斉朝礼
3日(水)	40分×6限授業(高校入試準備)
4日(木)	高校入試・自宅学習日
5日(金)	自宅学習日
6日(土)	9:10登校・40分×4限授業

- 出題範囲は、履修形態や進捗状況についてのアンケート結果に基づいて決定しています。
- 試験の公平性を見地から、出題範囲の取り扱いには十分ご配慮ください。
- 出題範囲とは、各教科・科目とも出題の対象となる範囲のことをいい、含まれるすべての分野・内容を出題するというものではありません。

出題教科	出題科目・範囲		出題方針
国語	国語	国語総合	センター試験への意識づけとしてご活用いただけるよう、形式・内容ともセンター試験に準拠しています。ただし、出題内容はこの時期における基本事項の確認や問題文を正しく読解できるかどうかの確認なども含みます。
数学	数学① (数学I, 数学I・A)	数学Iまたは 数学I・数学A ※数学Iは全範囲 ※数学Aは3項目(場合の数と確率, 整数の性質, 図形の性質)のうち, 2項目を選択	全国の学校の履修進度を考慮したうえで、センター試験で出題される範囲(数学I, II, A, B)の中から幅広く出題します。各大問の前半では基本事項を確認する問題、後半では応用力を要する問題構成にしておき、2年生のこの時期からセンター試験本番に近い状況でご受験いただけます。なお、履修進度を考慮し、数学IIでは微分法・積分法を除いて出題します。
	数学② (数学II, 数学II・B)	数学IIまたは 数学II・数学B ※数学IIの微分法・積分法は除く ※数学Bは3項目(数列, ベクトル, 確率分布と統計的な推測)のうち, 2項目を選択	
英語	英語【筆記】	コミュニケーション英語I・II, 英語表現I	英語【筆記】は、センター試験に準拠した形式で出題します。文法・語彙語法など基本事項から読解問題まで、幅広く出題します。英語【リスニング】は、センター試験に準拠した形式で出題します。
	英語【リスニング】		
理科 ※2 ※3	物理基礎	運動と力, 仕事とエネルギー, 熱, 波	センター試験に近い出題形式で、現時点での学習到達度を測ることをねらいとしています。内容面では実施時期を考慮し、基本事項を中心に問題を出題します。地学基礎は、進度に応じて選択問題を設けています。
	化学基礎	化学と人間生活, 物質の構成, 物質と化学反応式, 酸・塩基	
	生物基礎	生物の特徴, 生物の体内環境, 植生の多様性と分布	
	地学基礎	【必答問題】活動する地球, 移り変わる地球 【選択問題】大気と海洋, 宇宙の構成より1題選択	センター試験に近い出題形式で、現時点での学習到達度を測ることをねらいとしています。内容面では実施時期を考慮し、基本事項を中心に問題を出題します。物理・化学は、進度に応じて選択問題を設けています。
	物理	【必答問題】運動と力, 仕事とエネルギー, 熱(基礎), 平面運動・放物運動, 剛体 【選択問題】波(基礎), 運動量の保存より1題選択	
	化学	【必答問題】物質の構成, 物質の変化(基礎), 状態変化, 気体の法則, 結晶格子 【選択問題】溶液, 電池・電気分解より1題選択	
	生物	生物と遺伝子, 生物の体内環境, 生物の多様性と生態系(基礎), 細胞と分子, 代謝, 遺伝情報とその発現	
地学	移り変わる地球, 大気と海洋, 宇宙の構成(基礎), 地球の形状, 地球の内部		

- ※1 英語【リスニング】における問題部分の音声の所要時間は、約29分です。
- ※2 理科は、「物理基礎」と「物理」のように同一名称科目の組み合わせでの受験も可能です。
- ※3 出題範囲について、「(基礎)」の表記は、その表記以前の全分野にかかります。例えば、物理「運動と力, 仕事とエネルギー, 熱(基礎)」では、「熱」だけでなく「運動と力」、「仕事とエネルギー」も物理基礎の範囲から出題となります。

●選択問題● 詳細は問題冊子をご参照ください。

教科	科目・コース	選択問題	教科	科目・コース	選択問題
国語		全問必答	地歴	世界史B	大問1~4または、大問5~8を選択
数学①	数学I	全問必答		日本史B	大問1~5または、大問6~10を選択
	数学I・A	大問4~6 ⇒ 2題を選択		地理B	全問必答
数学②	数学II	全問必答	公民	現代社会	全問必答
	数学II・B	大問3~5 ⇒ 2題を選択		倫理	全問必答
英語		全問必答		政治・経済	全問必答
	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎	全問必答		倫理, 政治・経済	大問2~3 ⇒ 1題, 大問5~6 ⇒ 1題選択
	地学基礎	大問3~4 ⇒ 1題を選択			
理科①	物理	大問4~5 ⇒ 1題を選択			
	化学	大問5~6 ⇒ 1題を選択			
	生物, 地学	全問必答			

※世界史Bと日本史Bは、問題冊子の選択指示と異なる大問を解答した場合も採点を行います。

出題教科	出題科目・範囲		出題方針
地理歴史 ※4	世界史B	①諸地域世界の形成(南北アメリカ文明含む)~ヨーロッパ:ヨーロッパ世界の成立まで 中国:唐まで インド:デリー=スルタン朝まで イスラム:イスラーム世界の拡大まで ②ヨーロッパの拡大と大西洋世界(ルネサンス以降)~第二次世界大戦まで ※①・②いずれか1つを選択してください。①は年代の古い順からの履修に対応。②は近代からの履修に対応。	センター試験の出題形式に準拠し、文章選択問題や、内容の正誤を判断する問題に慣れることをねらいとしています。出題内容は2年生までの学習の総まとめとして、学習到達度の測定に重点を置いています。
	日本史B	①日本文化の黎明と古代国家の形成~中世社会の展開(室町文化・戦国大名の登場を除く)まで ②明治維新と立憲体制の成立(ペリー来航)~現代日本の政治と国際社会(55年体制の成立)まで ※①・②いずれか1つを選択してください。①は年代の古い順からの履修に対応。②は近代からの履修に対応。	センター試験の出題形式に準拠し、文章の正誤を判断する問題などを出題します。また、政治・社会経済・外交・文化の各分野からまんべんなく出題し、2年生までの学習の総まとめとして、学習到達度を確保できるよう配慮しています。
	地理B	地理情報と地図, 地図の活用と地域調査~資源・産業(工業を除く)まで ※中学校履修範囲や時事的・常識的事項に関しては、上記出題範囲に限らず出題する可能性があります。	マーク式の試験に慣れると同時に、現時点での学習到達度を測定することをねらいとしています。センター試験の出題形式に準拠しながら、基礎学力の定着の確認に重点を置いています。
公民 ※5	現代社会	全範囲	全範囲から、センター試験の傾向を取り入れて出題します。ただし、実施時期を考慮し、難易は基本事項の理解度を問う問題を中心とします。また、最近の諸問題も取り上げ、生徒の時事的問題に対する関心を高めるよう工夫しています。
	倫理	全範囲	全範囲から、センター試験の傾向を取り入れて出題し、センター試験に向けての意識づけが行えるよう配慮しています。内容面では実施時期を考慮し、基本的な用語や概念の正確な理解を問う問題を中心とします。
	政治・経済	全範囲	センター試験の出題形式に準拠して出題します。基本事項を問うことによって、現時点での学習到達度の測定とマーク式の試験形式に慣れることを目的としています。また、時事的問題への関心を高めるよう工夫しています。
	倫理, 政治・経済	【必答問題】(倫理分野) 人間としての自覚(源流思想)まで (政治・経済分野) 民主政治の基本原則と日本国憲法まで 【選択問題】(倫理分野) 日本思想, 西洋思想より1題選択 (政治・経済分野) 経済, 国際(政治・経済)より1題選択	「倫理」および「政治・経済」との共通問題により、各科目における学習到達度を測定することに重点を置いた出題を行います。また、様々な履修進度を想定し、選択問題による対応を行っています。

- ※4 地歴はB科目のみを出題し、「世界史A」「日本史A」「地理A」は出題しません。
- ※5 公民2科目受験は、「倫理」と「政治・経済」の組み合わせのみ可能です。